

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

合同会社福祉経営情報サービス

②事業者情報

名称：	ライフベースさやま	種別：	短期入所
代表者氏名：	小牧康洋	定員(利用人数)：	18名
所在地：	〒 350-1302 埼玉県狭山市東三ツ木351-15	TEL	04-2935-3287

③評価実施期間

令和3年9月1日(契約日)～令和3年12月28日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○利用者の声に耳を傾け、温かく家庭的な生活環境がつけられている

日常の支援の中で利用者の要望や声に耳を傾け、要望等に気軽に応えている。特に食事では一週間の中でフライの日(フライデー)、手作りメニューの日(手作りデイ)、麺の日などを設け、そのほか、月に1度のマル秘メニューや毎月の誕生日メニュー、外食によるランチ会など、利用者に食の楽しさを提供している。利用者に密着した支援を実践し、整備された厨房で利用者の好みに応じた食事を管理者自らが調理して提供するなど、生活の中で重要な部分である食を大切に考え、温かく家庭的な生活環境が創出されている。

○利用者本位を基本方針として、本人の自立を大切に考えた支援が実施されている

利用者ファーストを基本方針として、管理者がリーダーシップを発揮し利用者支援が実施されている。利用者が幸せに生きてもらうことを施設としての目標に掲げ、この場で過ごす時間を大切に考えており、自立度を高めるための支援にその考えが反映されている。入浴や食事、買い物に行くこと、自分で歩くことなど、本人が出来ることはなるべく本人にしてもらっており、自立を大切に考えた支援が実践されている。

○関係機関との連携を積極的に推進し、利用者支援の質の向上が推進されている

知的障害者連絡協議会の発足メンバーとして、また、同協議会の副会長として同業他事業者との連携と協力を積極的に推進している。管理者自らが他施設での現場実習など、同協会に於いて学び、また、関係機関からは障害者支援や施設運営に関する情報を得て事業運営をしており、得られた情報や学んだ内容は研修やOJTにより職員に周知され、支援についての理解が深められているとともに利用者支援に活かされている。また利用者が通所する日中活動事業所とは連絡帳などを通して利用者に関する情報を密に交換し、連携をして利用者の生活全般を見据えた施設支援に取り組んでいる。

◇特にコメントを要する点

○職員の質の向上に向けた教育・研修の体制づくりを期待したい

職員の教育・研修体制については個別のOJTや人権に関する内部研修などが実施されている。人材を育成するための体制として、職員一人ひとりの知識、技術水準、専門資格の取得状況などを把握のうえ、内部での勉強会や外部研修の受講など、適切な研修・教育の機会を一層充実させていくことを期待したい。

○事業計画の策定や安全に関する事項のマニュアル化等、組織的な取り組みを期待する

利用者支援や人材育成等についての課題は管理者、マネージャーから日々職員に伝えられているものと推察されたが、課題と解決のための方策を計画として具体的に明確化し、実践に取り組んでいただきたい。

また、安全確保に関しては総合的なリスク・マネジメントの体制として、災害時の職員体制、避難先、避難方法やルート、備蓄品のリストなど、万一のときに職員が適切な行動で利用者と職員の安全を確保するための災害マニュアルを作成しすべての職員に周知を図ってゆくことを勧めたい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回の第三者評価を受けて、当施設の様々な特徴（さらに伸ばすべき強み、改善すべき弱み）を客観視することができたので、その結果を支援員全員で共有する。結果をもとに、より良い施設づくりを目指し、利用者の満足度をさらに高めていきたいと考えている。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり